

【参考】自動車運送事業収支見通し

【改定後の経営計画期間：令和8年度～令和17年度】

(単位：億円)

	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)
収益的 収支	営業収益 (A)	69	73	74	74	75	75	74	74	74
	乗車料収入 ※1	66	71	71	72	72	72	71	71	71
	営業外収益ほか	34	30	29	29	29	28	27	28	27
	一般会計補助金	33	30	29	28	29	27	27	27	27
	収益 (B)	102	104	103	103	104	102	102	101	101
	営業費用 (C)	109	107	105	105	105	104	105	105	106
	人件費	39	38	38	38	38	38	38	39	39
	経費	61	61	61	61	61	61	61	61	61
	減価償却費	9	9	6	6	6	6	7	6	7
	営業外費用ほか	2	2	2	2	2	2	2	2	2
経常 収支	費用 (D)	111	109	107	107	108	106	107	107	108
	営業収支 (A-C)	▲ 41	▲ 34	▲ 31	▲ 30	▲ 31	▲ 29	▲ 31	▲ 31	▲ 32
	中長期的な取組みによる 経営改善効果額 (E) ※2				1	1	4	6	7	7
	当年度純損益 (B-D+E)	▲ 9	▲ 5	▲ 4	▲ 3	▲ 3	▲ 0	1	1	1
	経常収支	▲ 9	▲ 5	▲ 4	▲ 3	▲ 3	▲ 0	1	1	1
	累積損益	▲ 123	▲ 129	▲ 133	▲ 135	▲ 138	▲ 138	▲ 138	▲ 136	▲ 134
	資本的収入 (F)	15	5	8	9	6	9	8	10	8
	出資金 (G) ※4	8	8	10	7	7				9
	資本的支出 (H)	24	16	20	20	15	17	14	18	16
	建設改良費 ※3	10	1	4	8	5	9	7	9	7
資本的 収支	建設債償還金	13	12	12	8	5	6	5	7	8
	特別減収対策債等償還金	2	4	4	4	4	3	2	2	2
	差引 (F+G-H)	▲ 2	▲ 3	▲ 2	▲ 3	▲ 2	▲ 8	▲ 7	▲ 8	▲ 8
	補てん財源	▲ 6	▲ 3	▲ 5	▲ 3	▲ 5	▲ 0	▲ 1	0	▲ 0
企業債借入	企業債借入 ※5	3								
	当年度末資金剩余额	▲ 5	▲ 6	▲ 7	▲ 7	▲ 7	▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 8
	資金不足額 (I)	5	6	7	7	7	8	8	8	8
営業収益 (再掲) (A)		69	73	74	74	75	75	74	74	74
資金不足比率 (I ÷ A)		7.3%	8.2%	9.6%	8.9%	8.9%	10.9%	10.1%	10.6%	10.9%
										10.4%

※収益的収支は消費税及び地方消費税抜

※億円未満四捨五入（端数処理により、合計等が合わない場合がある）

※1 「乗車料収入」

市バスの乗車人員見通しに基づき、令和8年10月の運賃改定を反映(15%の增收)。

※2 「中長期的な取組みによる経営改善効果額」

次期経営計画に掲載・推進する中長期的な取組み(路線のあり方や運賃体系の見直し、資産活用等)による効果を反映。

※3 「建設改良費」

各種資産の更新周期や電気バスの試験導入等を踏まえた投資計画に基づく各年度の事業費を計上。

※4 「出資金」

企業債の償還額が大きい令和8～12年度において、一般会計から「出資金」による追加の財政支援を受ける。

※5 「企業債借入」

特別減収対策企業債(19.5億円)に加え、経営改善を促進することを目的に令和6～8年度の時限的措置として創設された新たな交通事業債の借入を予定(3か年で23億円(令和8年度は3億円)を想定)。